



ご当地 甘ぱん 茨城

# 茨 歯 会 報

No.548

茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

November  
2014  
平成26年

11



## Contents

デンタルアイ	1
菱沼一弥	
会務	4
理事会報告	6
会務日誌	7
地域保健委員会だより	11
医療管理委員会だより	14
学校歯科委員会だより	17
センターだより	19
社会保険委員会だより	27
専門学校だより	29
地区歯科医師会だより	32
長尾大輔	
宮作泰弘	
同好会だより	50
鈴木宏信	
ピンクのエプロン	52
川又純子	
リレー通信	53
内堀史朗	
会員の異動	55
国保組合 NEWS	56
茨歯アンテナ	57
歯科コラム	59
赤えんぴつ	60

### 表紙写真について

#### 紅葉の北アルプス焼岳

長野県と岐阜県にまたがる標高2455mの活火山。1915年の焼岳噴火で梓川が堰き止められて大正池ができました。

頂上付近の噴気口からは激しく噴煙があがる一方、火口湖は静かに水を湛えて外輪山を湖面に映しています。

北アルプスの展望台として素晴らしい景観が広がります。

(社)水戸市歯科医師会 飯島 重樹

## 歯科医療に関する一般生活者 意識調査



理事  
菱 沼 一 弥

平成26年3月、日本歯科医師会は「歯科医療に関する一般生活者意識調査」と題して、歯科医療に関する全国的なアンケート調査を実施しました。平成19年、21年、23年に続き、今回が4度目の実施で、(株)電通パブリックリレーションズに委託して行われ、調査方法はWebによるアンケート調査です。調査対象の年代は20～70代の男女（ほぼ同数）で、年代による偏りもほとんどなく、有効回答数は10,000人となっています。

5月に開催された全国都道府県歯科医師会広報担当理事連絡協議会において、電通担当者より、アンケート結果とその分析が報告され、今後の日歯、都道府県歯の広報活動にどのように役立つべきかなどが協議されました。やや時間が経てしまいましたが、その概要を紹介させていただきます。なお、この調査報告書は、日歯HP>メンバーズルーム>日歯の見解・報告書>意識調査に掲載されています。

### 歯科検診の受診状況

まず、歯や口に何らかの異常を感じている人は全体の55%で、その症状の内訳は「ものがはさまる33.1%」「歯の色合いが気になる23.4%」「口臭がある21.7%」「歯が痛んだり、しみる

19.8%」が上位で、以下「歯並びが気になる」「歯石がたまっている」「歯肉の出血や腫れ」「かみ合わせが気になる」などと続きます。

企業や自治体等の歯科検診、健診あるいは歯科医院でのチェックを受けている人は52%で、女性層や男性30代以上では、前回調査より受診率が上昇しているものの、男性の20～50代、女性の20代・50代は、どちらも受けていない人が半数を超えています。すなわち、歯や口腔に異常を感じていても半数弱は、検診・健診、歯科医院でのチェックともに未受診で、受診しない理由としては、「悪いところがないと思っているから」「時間がない」などと回答しています。

「悪いところがない」という自己判断をするのではなく、日頃から予防を含め、検診・健診、歯科医院でのチェックの重要性を説き、受診率の向上につなげていく事が改めて重要と思われ、特に20代男性向けにこれを訴求していくことが求められます。

また、「かかりつけの歯科医」がいる人は66%で、歯科医院でチェックしている人の9割は「かかりつけの歯科医あり」と回答しています。

## 歯科治療の状況

では、治療の状況はどうかというと、全体では「現在、治療中」が13.3%、「治療していたが、現在は中断」は7.0%、両者を合わせると20.3%。歯や口に異常を感じている人に限ると、「現在、治療中」は18.4%、「治療していたが、現在は中断」が9.6%、両者を合わせても28.0%です。したがって、何らかの異常を感じていても、そのうちの72%の人が歯科医院を受診していない、ということになります。この72%の方々を、いかに治療に向かわせるか。今後の歯科界を左右する大きな課題であることは疑う余地はないでしょう。

この歯科治療の状況は、居住地別での大きな差はなく、年1度以上歯科医院でチェックしている人では、「現在、治療中」が24.0%と、治療実施率が全体平均を大きく上回り、かかりつけ歯科医がいる人も19.0%と比較的高くなっています。また、「現在、治療中」は男女ともに高齢層ほど高くなる傾向がみられ、男女70代では2割を超えます。

受診のきっかけは「痛み・腫れ・出血があったから」37%や、「過去に治療した箇所に不具合が生じたから」27.4%と、症状を明らかに自覚してから歯科受診する傾向は、相変わらず変わっていませんが、定期検診のための受診も確実に増えています。

歯科受診の目的は、「むし歯の治療」47%、「定期検診」28%、「歯石除去・クリーニング」23%で、むし歯を目的にする人は、前回調査より減少しており、20代では「むし歯」、「親しらず」、「矯正」が多いが、年齢が上がるとともに、「定期検診」、「クリーニング」が増加しています。

## 歯科医院をどう選ぶ？

一番最近にかかった歯科医師・医院を選んだ理由は、「かかりつけの歯科医だから」49.7%、「通院に便利だから」33.7%で、2大理由となっており、「以前、通院していた歯科医だから」が18.0%で、3位となっています。その他としては、「人から紹介されて」6.2%、「周りの人の評判が良かったから」5.5%、「治療内容・方針・期間・治療費を説明してくれるから」5.4%、「その歯科医師・歯科医院の対応や人柄が良かったので」5.2%、「インターネットで評判がよかったので」3.1%などで、ネット社会と言われても、意外にネット情報での選択は少なく、やはり、通院の利便性と、いわゆる「口コミ」の力は依然として大きいようです。

別の質問で、歯科医院に関する情報をどこに求めるかを聞いていますが、「インターネットの口コミサイト」12.9%、「歯科医院のウェブサイト」6.2%という回答で、ネットからの情報を得た人の2、3割ぐらいが、それをもとに歯科医院を選択しているのかもしれませんが。

## 治療の満足度

受診経験者の75%が治療に対して「満足」と答え、前回同様、高齢層ほど満足度が高く、その理由は、歯科医師・歯科医院の「治療の丁寧さ」44%、「受付・スタッフの対応」40%、「時間通りの診療」39%などです。

7割以上が「病室や待合室」「受付・スタッフの対応」「事前説明」を評価し、特に、前回に比べ「治療期間や治療費に対する説明」への評価が上昇しており、インフォームドコンセントが徹底されてきていることがうかがえます。

一方、不満に感じている人は全体の7%に留まりますが、その理由として「治療技術に

不安」33%、「治療が雑な感じがしたため」29%、「何回も来院させるから」29%などを挙げています。特に、20代女性、30代男女では、治療期間の長さをネガティブに評価する傾向が強いようです。

歯科医師・医院に対する期待・要望としては、「治療技術が高いこと」59.7%が最も高く、「治療費の負担が低いこと」54.9%、「痛くないこと」47.3%が続く。さらに、「治療にかかる期間や回数が短いこと」38.5%、「治療

内容についてわかりやすく説明してくれること」36.9%、「治療の設備が整っていること」30.5%と続いています。

調査は、これらの設問以外に、歯科医師会に関する認識や、歯科と全身疾患との関係を問うものなどがあり、中々興味深いものとなっています。ぜひ、日歯メンバーズルームよりダウンロードし、貴院の経営戦略、日常臨床の参考にしてください。



*We try best!*  
For healthy and white teeth

本 社	〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7	TEL 03-3832-8241
水戸支店	〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18	TEL 029-225-6543
宇都宮支店	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6	TEL 028-613-5858
松戸支店	〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366	TEL 047-345-3131
野木支店	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15	TEL 0280-56-0567



iwase

株式会社

岩瀬歯科商会

千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所



## 大会決議

平成26年8月28日に茨城県で開催された平成26年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会において、「歯科医師会の新たな発展に向けて」をメインテーマとして5つの分科会と全体協議会を行い、それらを踏まえて本協議会は次のとおり決議する。

### — 決議 —

少子高齢化と厳しい国家財政から消費税10%も必至と考えられるが、財政の健全化には30%近い消費税も懸念される。そのみならず、社会保障費削減、言い換えて医療費削減を目的とした混合診療の解禁、民間保険の導入等、国民皆保険制度の大変革も現実味を増してきている。

また、公益法人制度改革は、もとより我々が求めた改革でなく、共済制度の変更を含めて、その対応のために其々の都県は苦渋の選択をした結果、新法人としての運営を始めた。しかし、今後の運営にも様々な課題があることが提起されている。

更に、歯科医師会内部に関しては組織率の向上は喫緊の課題である。組織率の低下は国や地方行政に対する我々の訴えの弱体化につながり、それは国民の健康を守る責務を担った歯科医師個人の危機に直結する。

こうした厳しい状況下において、歯科医師会は歯科保健・医療の中核的存在としての基盤を更に強固なものにせねばならない。その実現には歯科医師会の存在意義のアピールが必要であり、個々の歯科医師の意識改革も重要である。そして医療界を取り巻く制度や規制に対する改革を求めることも重要である。

そこで、関東地区歯科医師会役員連絡協議会は下記の提言と厚労省及び内閣府への要望書を日本歯科医師会を通じて提出する。

#### 【提言】

- 1、未入会対策では即効性のある方策はないが、学術団体として女性歯科医、勤務歯科医への積極的勧誘、各種媒体での広報活動、及び会員向け学術事業等の非会員への門戸開放も積極的に行うべきである。
- 1、未就業歯科衛生士の復帰には診療所の労働環境の改善が必要である。
- 1、地域包括ケアシステムでの歯科の役割に関する能動的なアピールが必要である。
- 1、禁煙支援は歯科医師会の重要な役割である。

#### 【要望】

- 1、公益認定に関する解釈で国、都道府県間の統一を求めたい。
- 1、歯科医師会共済制度の保険業法適用除外を求めたい。
- 1、平成二十六年度診療報酬改定の基本診療料に関して一定の評価をするが不十分であり、次期改定で更なる改善を求めたい。

平成26年8月28日

## 関東地区歯科医師会役員連絡協議会

一般社団法人	栃木県歯科医師会会長	柴田 勝
一般社団法人	群馬県歯科医師会会長	村山 利之
一般社団法人	山梨県歯科医師会会長	井出 公一
公益社団法人	東京都歯科医師会会長	高橋 哲夫
一般社団法人	神奈川県歯科医師会会長	高橋 紀樹
一般社団法人	埼玉県歯科医師会会長	島田 篤
一般社団法人	千葉県歯科医師会会長	斎藤 英生
公益社団法人	茨城県歯科医師会会長	森永 和男

公益社団法人 日本歯科医師会

会長 大久保 満 男 殿

## アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

火災保険

所得保償保険

小規模企業共済制度

自動車保険

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

# 理事会報告

## 第7回理事会

日時 平成26年10月16日（木）午後4時  
場所 茨城県歯科医師会館 会議室

### 1. 報 告

- (1) 一般会務報告
- (2) 後援・協賛依頼について  
認知症フォーラムin水戸（県央地区認知症を語る会）  
第13回茨城県栄養健康改善学会（茨城県栄養健康改善学会）
- (3) 10月開業予定の歯科医院について
- (4) 平成26年度茨城県警察歯科協議会について
- (5) 各委員会報告について  
学術委員会、厚生委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

### 2. 協議事項

- (1) 入会申し込みについて  
木村 郁夫氏（日立地区）、関口 浩氏（準会員）、岩本 博子氏（水戸地区）、岩間 張良氏（水戸地区）の入会を受理した。
- (2) 第156回臨時代議員会について  
標記について、11月27日（木）午後1時開会とすることとした。
- (3) 平成27年度事業計画及び予算案の提出について  
標記について12月11日までに提出すること

とした。

- (4) 平成26年日本介護支援専門員協会北関東ブロック研修会inいばらきへの後援について  
標記について承認した。
- (5) 会員資格について  
家族との連絡が取れずに死亡が確認された場合、会費等引き落とししないこととした。
- (6) 会費未納者の対応について  
標記について、返戻計画書を作成し、滞った場合自動除名とすることとした。
- (7) 平成26年度関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会について  
標記について、会場設営、シナリオ等確認した。
- (8) 茨城県民歯科保健大会・歯と口の健康フェスティバルについて（協\_資料7）  
標記について、内容を確認した。

# 会務日誌

- 10月16日 保険医療機関に対する個別指導が市町村会館にて実施された。  
対象医療機関数 6
- 10月16日 関東信越国税局管内税務指導者協議会が長野市「メルパルク長野」にて開催される。  
第1部では管内各歯科医師会からの現況報告と、提出議題についての協議が行われ、その後日歯税務・青色申告委員会委員 坂入道子先生が「消費税10%への対応」について、日歯嘱託税理士 伊東貞先生が「歯科医業経営の現状」について講演された。  
国税局担当官を交えての第2部では、国税局管内における税務の現況、税務諸問題と会員指導について協議が行われた。  
出席者 大字常務ほか1名
- 10月16日 第7回理事会を開催。入会申し込み、第156回臨時代議員会、平成27年度事業計画及び予算案の提出、日本介護支援専門員協会北関東ブロック研修会への後援、会員資格、会費未納者の対応、関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会、県民歯科保健大会・歯と口の健康フェスティバルについて協議を行った。  
出席者 森永会長ほか17名
- 10月18日 関東地区会長打合せ会が東京都中央区にて行われ、時局問題、関東地区役員連絡協議会について協議を行った。  
出席者 森永会長
- 10月19日 口腔ケアベーシック講習会をホテルグリーンコア土浦にて開催。「お口でおいしく食べるために」をテーマに、歯科衛生士による実技指導を交えて、野木隆久介護保険委員が講演を行った。  
受講者 42名
- 10月21日 新規に指定された保険医療機関に対する集団指導が県開発公社にて行われた。  
対象医療機関数 16
- 10月23日 第78回全国学校歯科保健研究大会が松江市「島根県民会館」にて開催された。メインテーマを「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して」に、サブテーマを「学校歯科保健を通して学校・家庭・地域が取り組む健康な心と体の育成」として、初日は表彰式、ポスター発表、基調講演、シンポジウムが行われ、2日目には、5つの領域別研究協議会、領域別協議会報告が行われた。  
出席者 長谷部理事ほか1名
- 10月23日 つくばみらい市とつくばみらい市歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調印式がつくばみらい市役所にて行われた。  
出席者 森永会長ほか1名
- 10月23日 第7回広報委員会を開催。会報10月号の校正、会報11月号の編集、県民歯科保健大会、

歯科コラムについて協議を行った。

出席者 菱沼広報部長ほか6名

10月23日 専門学校にて指定校推薦入試を実施。歯科衛生士科に対し14名、歯科技工士科に対し3名の受験者があり、同日行われた合否決定委員会にて歯科衛生士科14名、歯科技工士科3名を合格とした。

10月23日 第6回地域保健委員会を開催。噛むかむレシピコンテスト、県民歯科保健大会、歯と口の健康フェスティバル、禁煙支援研修会・生活習慣病歯科対策研修会、県歯版産業歯科保健マニュアル作成、フッ化物洗口のパンフレット作成、健康寿命延伸のための歯科医療、口腔保健世界会議、歯科医学会について協議を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか10名

10月26日 水戸市歯科医師会主催・県歯共催の介護保険講習会を茨歯会館にて開催。「高齢者に対する口腔機能の評価と訓練方法～高齢者に優しい あなたに易しいプロの技（わざ）～」をテーマに講習を行った。

受講者 86名

10月27日 内外情勢調査会茨城支部・茨城県南支部特別合同懇談会がホテルグランド東雲にて開催され、橋本昌知事による講演が行われた。

出席者 森永会長

10月28日 摂食嚥下研修会の第5回目を開催。「摂食嚥下機能訓練の実際②」の研修を行った。

受講者 71名

10月29日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 5

10月29日 第6回社会保険委員会を新宿区にて開催。審査委員連絡協議会準備、各委員の役割分担の最終確認、協議題の検討を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか11名

10月30日 関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会を当番県として日歯会館にて開催する。基調講演「大久保執行部9年間の議論と次の10年に向けて」の後に各都県からの21の提出議題について協議が行われた。

出席者 榊常務ほか15名

11月 2日 シンポジウムを「高齢者の歯周病治療をめぐって」をテーマに開催。松本歯科大学歯科保存学講座の吉成伸夫先生、静岡県駿東郡開業の米山武義先生がそれぞれ講演され、その後ディスカッションを行った。

受講者 82名

11月 2日 第4回学術委員会を開催。来年度の歯科医学会、演題募集・抄録作成、次年度事業計画について協議を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか10名

11月 3日 第67回栃木県歯科医学会が栃木県歯科医師会館にて開催される。本県より山口将日氏が研究発表の講演を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか4名

- 11月6日 第64回全国学校保健研究大会が金沢市にて開催（～7日）。「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」をテーマに、全体会では表彰式、講演が開催され、翌日は10題の課題別研究協議会が行われた。席上、学校保健功労者として寺門乙二氏（常陸太田市）が文部科学大臣表彰を受けられた。

出席者 長谷部理事ほか1名

- 11月6日 第64回全国学校歯科医協議会が金沢市にて開催され、「健康教育において学校歯科保健の果たすべき役割」～生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育むために～をテーマにシンポジウムが行われた。

出席者 長谷部理事ほか1名

- 11月6日 第5回厚生委員会を開催。県民歯科保健大会・歯と口の健康フェスティバル、会員・家族・従業員レクリエーションについて協議を行った。

出席者 千葉厚生部長ほか9名

- 11月7日 専門学校において推薦入試を実施。歯科衛生士科35名、歯科技工士科6名の受験者があり、同日開催の合否決定委員会にて歯科衛生士科35名、歯科技工士科6名を合格とした。

- 11月8日 第35回全国歯科保健大会が大阪国際交流センターにて開催。大会テーマは「健康は歯から～歯科が支える健康長寿～」。講演「高齢者における歯科口腔保健と全身疾患罹患リスクとの関連」、シンポジウム「～地域包括ケアシステムの中での歯科の役割～」、フォーラムが行われた。なお席上、日歯会長表彰を鈴木潤一氏（潮来市）を受けられた。

出席者 森永会長ほか名

- 11月8日 第2回医療管理委員会をつくば市内にて開催。スタッフセミナー、県民歯科保健大会、復職支援講習会、次年度事業計画について協議を行った。

出席者 鈴木副会長ほか11名

- 11月9日 スタッフセミナーを開催。「接遇マナーの基本」「おもてなしの心の表し方」について元ANA客室乗務員・元ANA教官の接遇マナー講師 塚崎洋子先生が講義された。

受講者 32名

- 11月12日 四師会による第2回在宅医療・介護推進ワーキンググループ会議を茨歯会館にて開催。各師会市町村及び地域代表者の主なる活動要旨及び今後の指針、四師会共同開催講演会、四師会共同事業案について協議を行った。

仲田理事ほか1名

- 11月13日 警察歯科協議会の主催により講演及び実習を行う。午前中は奥羽大学の花岡洋一先生を招いて「歯科医師による口腔内、所見採取の実際と東日本大震災後の考慮点」と題しての講演、午後からは、警察歯科医・海上保安歯科医と県警鑑識課・海保担当者の合同による生前・死後のデンタルチャート作成と照合実習を行った。

受講者 135名

- 11月13日 警察歯科協議会を開催。平成25年度決算報告及び平成26年度事業計画及び予算、新任警察歯科医の委嘱及び県警との覚書締結状況について報告を行った。

出席者 森永会長ほか56名

高柳県警捜査第一課長ほか5名、天野茨城海上保安部次長ほか2名

11月13日 保険医療機関に対する集団的個別指導が県開発公社にて実施された。

対象医療機関数 47

11月16日 第23回茨城県民歯科保健大会を開催。高齢者よい歯のコンクール、親と子のよい歯のコンクール、茨城県歯科保健賞および歯と口の健康に関するポスターコンクールの表彰を行った。

午後からは「歯と口の健康フェスティバル」を開催。各委員会、専門学校、口腔センターの協力の下に、ご当地ゆるキャラ大集合、パネル展示、茨城歯科専門学校オープンキャンパスなどの各種イベントを実施した。

来場者 835名

11月16日 県薬剤師学術大会がつくば国際会議場にて開催された。

出席者 森永会長

11月17日 県総合リハビリテーションケア学会理事会がつくば国際大学第2キャンパスにて開催された。

出席者 森永会長

11月18日 河内町と河内町歯科医師会ならびに（社）茨城県南歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調印式が河内町役場にて行われた。

出席者 森永会長

11月18日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 3

11月19日 社保委員と審査委員の合同連絡協議会を開催。保険請求に関して提出された7の協議題について協議・意見交換を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか21名、新井田審査委員ほか17名

## 第73回 日本公衆衛生学会に参加して

地域保健委員会 北見 英理

平成26年（2014年）11月5日（水）～7日（金）にかけて、栃木県宇都宮市において第73回日本公衆衛生学会総会が開催され、地域保健委員会の戒田と北見が参加しましたので報告いたします。

総会のメインテーマは、「連携と協働：理念から実現に向けて」でした。

目的は、「高齢化が進む中で保健と福祉との連携が必要とされており、また生活習慣病やメンタルヘルス不調が増加する中で地域保健・学校保健・産業保健との連携が模索され、さらに学問や社会の変化に対応するために他分野の学問領域・学会などとの連携が必要となるなど、様々なところで組織や職種間の連携・協働の重要性が指摘されています。しかし、そうした理念は理解されているものの、現実には連携と協働がうまく機能していない場面が多くみられます。今回の学会では、連携と協働を阻む要因や促進要因を明らかにし、公衆衛生の様々な分野における連携と協働の実現を目指します。」でした。

内容は、特別プログラム72、一般演題（口演）307、一般演題（示説）1188、自由集会53の登録がありました。

地域保健委員会では、平成21年の第68回から参加し6年連続で、一般演題（示説）で「新しい歯科健診“口腔機能健康測定”」について発表を行っています。今年度は、演題名を「口腔機能測

定の学校歯科保健活動への応用に関する研究」とし、県内の高等学校において口腔機能健康測定を実施することができたので、結果を統計解析し、抄録は下記のように作りました。

抄録本文：

【共同演者】北見英理<sup>1)</sup> 戒田敏之<sup>1)</sup>  
福田雅臣<sup>2)</sup>

【所属】茨城県歯科医師会<sup>1)</sup>  
日本歯科大学生命歯学部衛生学講座<sup>2)</sup>

【目的】

高等学校での歯科保健活動の現状は、小中学校に比べ保健教育、保健管理両面で、充実した活動が行われているとは言い難い状況にある。特に、高等学校は成人期に向け、口腔保健状況を把握する最後の機会であり、同時に歯科保健に関する教育、管理への様々な対応や活動の集大成が求められている時期でもある。今回、茨城県歯科医師会が開発し、地域歯科保健および産業歯科保健において実施している新しい歯科健診「口腔機能健康測定」を高等学校で実施する機会を得たので報告する。

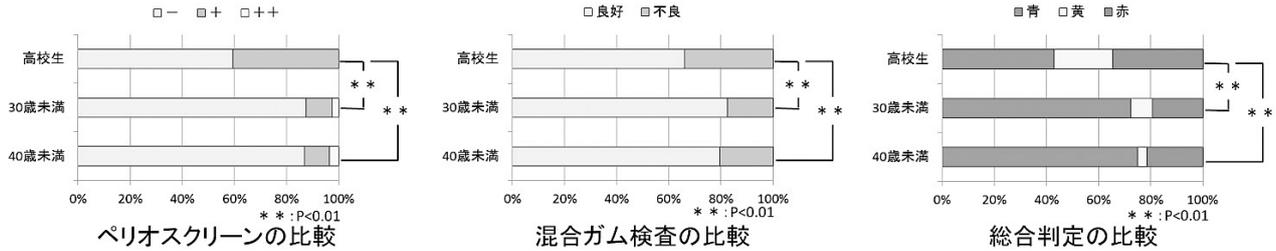
【対象と方法】

対象は県内の某高等学校の男子57名、女子76名の計133名である。口腔機能測定は、唾液潜血試験（ペリオスクリーン：PS）と混合力検査ガムによる口腔機能検査（混合力検査）混合力検査前後の口腔内状況と生活習慣に関する問診で構成され

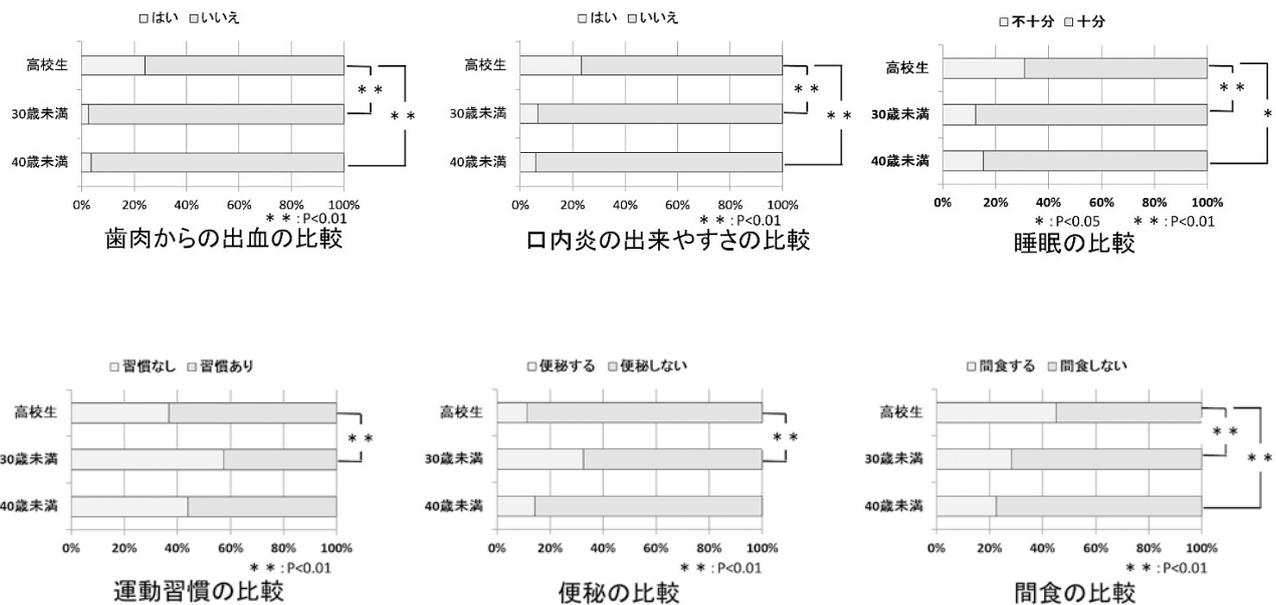
たものである。PSは-・+・++の3段階で評価し、混合力検査は赤と青の粒ガムを各1個口腔内に入れ30回と60回咀嚼させ、各回数での混合状態をA：原色が残る、B：点状に残る、C：一様に紫色の3段階で判定した、咀嚼回数と混合状態との組み合わせで、“低混合力群” “正常群” に区分

した。これらの結果から、総合判定を青信号：PS(-) “正常群”、黄信号：PS(+) “正常群”、赤信号：青黄以外の3段階に層化した。また、これら診査結果を昨年度茨城県歯が実施した20歳から40歳の口腔機能健康測定結果（成人測定値）と比較・検討した。

【結果Ⅰ】口腔機能測定結果：高校生と成人測定値の比較



【結果Ⅱ】問診結果：高校生と対照群の比較



【考 察】

今回の調査結果から、本調査対象の高等学校では、歯周疾患および口腔機能、特に“噛む”ことについての問題点が明らかとなった。また、生活習慣においても、成人期に比べ睡眠が十分ではなく、間食が多いことがわかった。今後、高等学校における保健活動を充実していくためには、定期歯科健康診断による口腔保健状況の把握だけでな

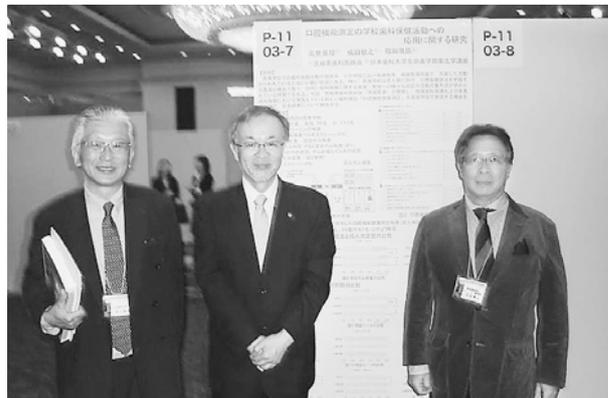
く、自らが口腔内状況や口腔機能を確認することのできる検査法を学校保健活動に組み入れていくことや、歯科保健教育・管理を通じた良好な生活習慣を獲得していくための活動を進めていくことが重要であると考えられた。

発表後、同日行われた自由集会「多職種で考える・進める歯科保健」に、戒田と北見で参加

した。テーマは、『特定健診・特定保健指導に「歯科」は必要か？何が必要か？』。世話人は、青山旬先生（栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部）・長優子さん（江戸川区東部健康サポートセンター）・高澤みどりさん（市原市保健センター）、安藤雄一先生（国立保健医療科学院）の4人で、内容は医療制度改革に関する情報 第三期特定健診・特定保健指導改定（平成30年）に向けた検討であった。

1. 特定健診・特定保健指導に「歯科関連プログラム」を導入するメリットは？
  2. 特定健診・特定保健指導における「歯科」の立ち位置は？
  3. 特定健診・特定保健指導に必要な歯科プログラムとは…？
- 等についてグループワークを行い、発表、意見

交換、全体討議が行われた。医師、歯科医師、歯科衛生士、保健師など30数名が参加し、開業医、行政、大学、企業など様々な立場からの意見が出され、大変有意義な一日を過ごすことができました。



共同演者の福田雅臣先生とポスターの前で記念撮影

## 原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail [id-05-koho@ibasikai.or.jp](mailto:id-05-koho@ibasikai.or.jp)

広報委員会

# 医療+管理委員会 だより

平成26年度日本歯科医師会認定歯科助手講習会において、59名の方が認定されました。おめでとうございます。

受講者氏名	診療所名	会員氏名	松本 麻依	梅原歯科医院	梅原 功好
長島 早希	入江歯科診療所	入江 靖雄	薄井 希	梅原歯科医院	梅原 功好
渡邊 悠	川島歯科医院	浅見 純郎	木村 玲奈	桜井歯科医院	坂井 敏修
中島 裕子	伊藤歯科医院	伊藤 寿	高塚 紗季	斉藤病院歯科	斉藤 哲朗
木村 栞理	吹上歯科医院	真中 信之	渡邊 芳美	大圃病院	設楽詠美子
柴 綾美	小倉歯科医院	小倉 宏平	曲 金満	湖北歯科医院	宮本 豊亮
大津貴和子	戸来歯科医院	戸来 徹	上田 莉奈	田中歯科医院	田中 郁男
及川 真由	戸来歯科医院	戸来 徹	古矢 まき	デンタルクリニック諏訪	諏訪 綱義
須澤 未帆	ノグチ歯科	野口 秀人	寺門 春香	こばやし歯科クリニック	小林 良誌
武田 望	山田歯科医院	山田 裕司	直井友里恵	こばやし歯科クリニック	小林 良誌
福士 莉代	小山歯科医院	小山 博義	野田 智子	やまだ歯科医院	山田 知範
豊崎 舞子	松ヶ丘歯科医院	山崎 孝明	宮崎 志穂	ピアシティ歯科クリニック	寺澤 秀朗
小出美由紀	光林堂歯科医院	吉岡 正行	石井有紀江	勝田大成歯科医院	遠藤 一字
関町 春菜	光林堂歯科医院	吉岡 正行	坏 真衣子	白土歯科医院	白土 祥樹
永井 泉美	蛭原歯科医院	蛭原 誠治	櫻井加奈恵	幸デンタルクリニック	高木 幸江
輿 あやか	蛭原歯科医院	蛭原 誠治	仲野 聖愛	神賀歯科医院	神賀 利典
正木 瑠咲	新堀歯科医院	新堀 敏也	根本 薫	岩間歯科医院	岩間 光典
中島 友理	グリーン歯科医院	緒方 守	佐藤 優	大内歯科クリニック	大内 肇
川又 美絵	グリーン歯科医院	緒方 守	酒井ひろみ	吉田歯科医院	吉田 敏男
小堤 梨恵	しもこうべ歯科医院	下河邊文則	小沼 千紘	大串歯科医院	小門 茂
飯村 日代	うつぎざき歯科医院	槍崎 慶二	藤田恵美子	小澤歯科医院	小澤 治雄
武藤 朋子	梅原歯科医院	梅原 功好	江幡 千夏	あだち歯科医院	足立 宗行



薄井 美歩	吉川歯科医院	吉川 一郎
染谷 愛美	MAOデンタルクリニック	藤井 麻央
齊藤 美沙	あしか歯科クリニック	大塚 善行
林 香菜美	大槻歯科医院	大槻武一郎
寺田 茜	若松歯科医院	若松 理
山口 智子	たかぎ歯科	高木 伸子
出澤 幸子	フカヤ歯科クリニック	深谷 聖
平戸理沙子	フカヤ歯科クリニック	深谷 聖
小池 麻未	平井歯科医院	平井 豊
寺田 知生	柴原歯科医院	柴原宏一郎
長沼 裕子	常陸大宮市国民健康保険美和診療所	高橋 健
青木 悠里	モダンデンタル中庭歯科医院	中庭 敏博

宮内 莉緒	モダンデンタル中庭歯科医院	中庭 敏博
石倉 悠衣	かいだ歯科医院	戒田 敏之
飛田 尚子	水戸インプラントクリニックおおとも歯科	大友 孝信
橋本 ちなみ	比企歯科医院	比企 芳保



## スタッフセミナー

医療管理委員 奥田 雅人

平成26年11月9日（日）、医療管理委員会の事業の一環として、年2回行われている「スタッフセミナー」が、紅葉した街路樹の美しいつくば市ノバホールで行われました。

当日は今にも雨の降りそうな、あいにくの天気にもかかわらず、つくば市だけでなく遠くの支部所属の歯科医院からも総勢32名の参加がありました。

まず、山本委員長、大字部長の挨拶から始まり、飯塚先生による諸注意、そして講師紹介へと進んでいきました。

今回の講師は、いつもお世話になっている塚崎先生のピンチヒッターとして、一番弟子を自他ともに認める細谷先生にお願いしました。

細谷先生は、ANA全日空国際線CA、エアージャパンアナウンサーアドバイザー、接客マナー講師、JAXA（宇宙航空研究開発機構）教授秘

書、恵泉女学園大学非常勤講師、そして現在は日本を代表する一流企業で新入社員研修、接客マナー研修の講師として活躍しています。

今回は4人で1つのテーブルを囲み、まず自己紹介。その後、様々な状況を想定してのロールプレイングを通して実践的な歯科医院での患者さんに対する接客を学んでいきました。

今回のセミナーの主な内容は次の通りです。

- 1、接客とは何か
- 2、歯科医院に求められる接客とは
- 3、社会人としてのマナー  
職場でのマナー、自己啓発、身だしなみ、立ち居振る舞い、言葉使い

最後に、近年特に問題となりやすいクレーム対応の仕方について、様々な状況での対処方法、注意事項についての説明がありました。

この際、大切なことは、

- ①誠意、正確、慌てずに迅速な対応
  - ②1件のクレームの影には25人の不満がある事を考える。
  - ③素直に患者から教わる
  - ④メモを取る
  - ⑤治療に関する苦情は歯科医師に任せる
  - ⑥予約や料金に関する苦情は即答を避ける
- といったことがあげられます。

初めは見知らぬ人同士、ぎこちなかった雰囲気も次第に和み、後半には自然な明るい笑顔、自信

のある口調で話せるようになっていく様子が印象的でした。



## 電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の3名の専門家と顧問契約を結んでおります。

- |                 |               |                   |
|-----------------|---------------|-------------------|
| <b>顧問弁護士</b>    | <b>大和田一雄氏</b> | 法律相談全般            |
| <b>医療アドバイザー</b> | <b>古川 章氏</b>  | 保険請求や各種届出などに関すること |
| <b>社会保険労務士</b>  | <b>皆川雅彦氏</b>  | 従業員との労働契約、労務関連など  |

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



**茨城県歯科医師会事務局**  
 電話 029-253-2561  
 FAX 029-253-1075

## 第64回 全国学校保健研究大会報告

学校歯科委員会 椎名 和郎

平成26年11月6日・7日に石川県金沢市において第64回全国学校保健研究大会が開催されました。長谷部理事と一緒に参加してまいりましたのでご報告します。

主題：生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進  
—健康で安全な生活を送る子供たちの育成—

### (1) 全体会

- ・開会式、表彰式（学校保健・学校安全の功勞者に対する文部大臣表彰）
  - \*茨城県の学校歯科医では寺門乙二先生が表彰されました。おめでとうございます。
- ・記念講演「学校における健康教育を未来に生きる子供達のために」
 

講師 聖心女子大学教授 植田誠治 先生

「未来を生きる子供達に必要な保健の教養は何か、そしてそれを身につけていくのに必要なものは何か」ということについてお話があ

りました。「認識および知識・理解」「興味・関心・意欲」「主体的な学び」「協同的な学び」の4つの観点が実際の授業場面や教材開発場面では大切とのことでした。

### (2) 課題別研究協議会

#### 第7課題 歯・口の健康づくり

研究主題：生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方

研究発表

- ①健康診断結果を生かした健康教育の取組
 

—目標をもって取り組む児童の姿を目指して—

石川県津幡町立井上小学校 養護教諭 西尾 圭子 先生
- ②高等学校における歯科保健の取組
 

—生徒保健委員会の立ち上げから始まる歯の健康増進プランの一例—

愛知県名古屋市立工芸高等学校 養護教諭 酒徳 恵理子 先生
- ③心をはぐぐむ歯科保健「早起き・朝食・歯み



がきで めざせ いきいき中学生」  
一学校、家庭および地域社会が連携した学校  
歯科保健活動の進め方について—

東京都足立区立第一中学校 主幹教諭  
(養護教諭) 山本 康子 先生  
指導助言 東京都多摩保健所

歯科保健担当課長 五十里 一秋 課長  
講義

歯・口の健康づくりは全身の健康にも貢献する  
—歯周病と糖尿病およびメタボとの関わりを  
中心に—

日本大学教授 前野 正夫 先生

歯周病と糖尿病、歯周病とメタボリックシ  
ンドロームの関係についてお話がありまし  
た。

「日常行っている歯みがきや洗口の理由を見  
児童生徒に問うと、彼らの多くはむし歯予防あ  
るいは歯肉炎の予防のためと答える。どちら  
も正しい回答だが、本講義で示したとおり  
『歯・口の健康づくり』は、むし歯や歯肉炎  
など単に口の中で起こる疾患の予防のためだ  
けでなく、肥満、糖尿病あるいはメタボ予防  
など、生涯にわたる『全身の健康づくり』に  
も密接に関連していることを、学校現場で児  
童生徒に伝えていただければと願っている」  
とのことでした。

## 第64回全国学校歯科医協議会報告

平成26年11月6日、ホテル日航金沢に於いて上  
記協議会も開催されましたので併せてご報告しま  
す。

### シンポジウム

『健康教育において学校歯科保健の果たすべき  
役割』

～生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力  
を育むために～

座長 石川県歯科医師会会長 蓮池芳浩 先生

教育行政 健康教育の一環として推進する学校  
歯科保健教育

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課  
教科調査官 森 良一 調査官

学校現場 『歯・口の健康』から進める生涯の  
健康づくり

—地区小中学校・保健部会の取組と  
今後の展望—

石川県金沢市立浅野川中学校

保健主事・養護教諭 藤森 敦子 先生  
学校歯科医 「健康教育において学校歯科保健

の果たすべき役割～学校歯科医の  
立場から～」

～生涯を通じて、心豊かにたくま  
しく生きる力を育む～

日本学校歯科医会 常務理事

竹内 純子 先生

### おわりに

今回の大会に参加して、学校保健教育が児童・  
生徒の自主性を重んじるという本当の意味で「生  
きる力をはぐくむ」という方向に進んでいること  
を実感しました。そして「生きる力をはぐくむ」  
うえで学校歯科保健は全身との関連も含め重要な  
部分を占めていると思いました。



## 茨城県土浦心身障害者歯科治療センター企画の 障害児・者歯科講習会報告

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター

竹中 京子、丸山 容子、高木 伸子、  
坂巻 ますみ、村居 幸夫、征矢 亘、  
森永 和男

平成26年9月21日（日）に霞ヶ浦医療センター講堂において茨城県歯科医師会主催の「障害児・者歯科予防講習会」が開催されました。

今回は、「発達を促す食事支援～食べたように子は育つ～」と題してNPO法人摂食コミュニケーション・ネットワーク理事長であり、摂食カウンセラーの中島 知夏子先生にご講演戴きました。

中島 知夏子先生の略歴は次の通りです。

- 1972年 淑徳大学社会福祉学部社会福祉科卒業  
千葉県内養護学校教諭。摂食指導開始
- 1989年 別府整肢園等で摂食指導  
職業訓練校・高校福祉コースで教鞭をとる
- 2001年 NPO法人摂食コミュニケーションネットワーク設立。  
別府溝部学園短大助教授
- 2005年 別府溝部学園短大退職  
障害児・高齢者中心の摂食・生活指導活動を行っている。

### 講演内容の要旨

口から食べることは五感（触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚）をすべて使う全身動作です。家族が揃って食卓を囲むという行為が「食べる」ことだ

と考えています。豊かさを育てる食べ方は、一言でいうなら一日の二食を家族が揃って食卓を囲むということです。または、誰かと食べること、一人では食べないということです。障害のある人たちの食事風景を見ると必ずしも楽しいものではないことがあります。口から食べるという基本的な機能の発達は「食べる」ことを通して障害のある人たちの心理・情緒面を成長させ、それによってコミュニケーションの基礎をも培われていくものと考えています。食事指導の技術の習得はもちろんですが、指導者（介助する人）と障害のある人たちとの心のふれあいを重視して一人一人の全身の発達を促す食事指導であってほしいと願っており、事例を挙げて紹介いただきました。

### アンケート集計結果

受講された方々には所定のアンケート用紙に無記名で記入をお願いし、講習会終了後に回収しました。アンケートを集計し、その結果をまとめたので報告します。

#### 1) 受講者数とアンケート回収率

受講者数は91名であり、アンケート提出者数は60名で、回収率は65.9%でした。

#### 2) 性別・年齢

性別は女性85%、男性11.7%、記入なし3.3%でした。

年齢は30代・40代が70%と最も多く、次いで20代15%、50代が10%、60代が5%の順でした。

### 3) 職種

受講者の職種を表1に示します。

保護者家族16名で26.7%と最も多く、障害者・

表1 受講者の職種

職種	名	構成比
養護教諭	3	5.0%
幼稚園、保育園職員	3	5.0%
保健師	3	5.0%
看護師	3	5.0%
歯科衛生士	5	8.3%
施設職員	8	13.3%
保護者家族	16	26.7%
特別支援学校教員	4	6.7%
病棟保育士	1	1.7%
介護士	1	1.7%
作業療法士	2	3.3%
言語聴覚士	1	1.7%
支援員	1	1.7%
管理栄養士	1	1.7%
歯科受付	1	1.7%
記入なし	7	11.7%
計	60	100.0%

児に携わる様々な職種の方々が登場していました。

### 4) 受講者による評価

講演内容に対する受講者の評価を表2に示します。

表2 受講者による評価

評価	名	構成比
非常に良かった	55	91.7%
良かった	5	8.3%
あまり良くなかった	0	0%
記入なし	0	0%
計	60	100.0%

### 5) 受講者の感想・意見

- ・摂食指導を（小4の娘）が受けていますが、改めてのお話が身にしみました。あせらず進めていって良いというのは、家族にとって一番のはげましの言葉だと思っています。これからは頑張らないで介助します。
- ・こどもに携わる日々の生活の中で、改めてソーシャルアングルの一人としてこども達を、ご家族を、サポートできる人でありたいと思い、身を引きしめると共に、素人の目をもつプロとして「なぜ」「どうしたら」を見極め、考えられる初心でいられる信念を持ち続けたいと思いました。ありがとうございました。
- ・自分の仕事の足りなさを思いました。「ここから」という気持ちを強くもちました。成年期を迎えた私の職場の利用者さんの今後の人生を考えると「食べる」をもっと考えようと思います。ただ…持ち帰ってちゃんと他の職員に伝える事ができるか不安です。また自分で復習・勉強を重ねます。
- ・お話を聞きたいと思っていた先生のお話を無料で聞かせていただき、何とありがたいことかと感謝しております。これからも先生の教科書を見ながら子をよく見て、摂食指導を実践していきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・体験に基づく貴重なお話でした。ありがとうございました。今年度より、肢体不自由部門から知的障害部門に学部が変わりましたが、摂食に関して気になる児童が沢山おります。給食等の時間内と保護者の皆様の思いを聞き取りながら、今後も摂食指導を行っていきたいと思います。ていねいに、根気強く!!
- ・発達障害の子供を育てている母親です。先生のお話を聞いて、たくさん思い当たる事があって「早くできるようにならないかな？」

という思いばかり思っていたので、その子にあったペースで育てなくちゃいけないんだと反省しました。とてもためになり、心にひびきました。ありがとうございました。

- ・障がい児の親です。あたり前のことに慣れてしまった日常に“信念を持つこと”という言葉が響きました。初心を忘れないようにします。今、よだれで悩んでいるのももう少し大きくなったら先生のアドバイスを実践してみます。

#### 6) 今後の講演課題・要望について

- ・健常児（者）でもお口ポカンが多く見られます。ふつうの学校の職員にも同じ内容で「食したい食べ方」を知ってもらえたらと思います。
- ・日曜の午後は大変いいと思います。
- ・時間的に2時間では足りないと思いました。もっともっと先生のお話をお聞きしたかったです。遠い所、私達の為にありがとうございました。障害児を持つ中で孫達、家族へやさしい食事と言葉をいっぱいシャワーしてあげたいと思いました。
- ・県中・県北でも同じような研修会を開催して頂くとありがたいです。

今回の講習会に保護者やその家族の方々が多く参加されました。初の試みではありましたが、専



門職による一時預かり保育が実施されました。反省点や課題などあげられましたが、保護者の方々からは安心して受講することができたと好評でした。

日々の食事介助について不安やあせりを感じながら過ごしていた家族や介助者にとって、その人の発達段階や口腔機能に応じた食形態の大きさ・かたさ・とろみなど調理の工夫、また食環境・脱感作・呼吸・姿勢・介助者の位置・スプーン・箸・一口量などなど事例を通して学ぶことができたと思います。最終目標が「普通食」になることではないのです。関わる人の工夫や配慮によって「食べる」ことを通して単に生命維持だけでなく、人に食べる喜び、味わう喜び、そして心の豊かさを与えるということを改めて学ぶ機会となりました。

また今回、保護者、その家族も多く参加され、それぞれの専門職との共通の理解が得られたことが大変良かったと感じています。



# 全身麻酔を実施するうえでのリスク評価 ～第3回 肝臓（前編）～

森永歯科医院

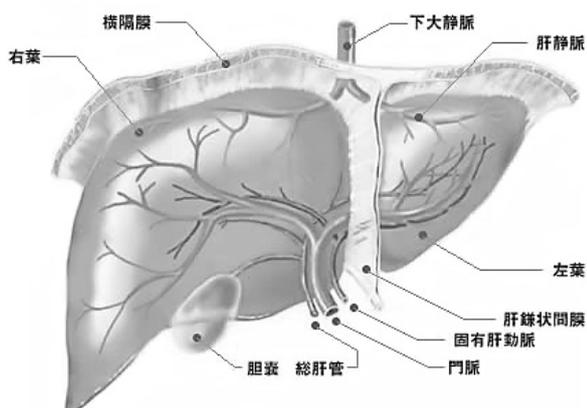
水戸口腔センター / 石岡第一病院 / 富士市立中央病院

非常勤麻酔医 森永 桂輔、

村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

全身麻酔を行うにあたって、その患者のリスク評価を行う必要がある。評価は、肺（呼吸）機能・腎機能・肝機能・心機能・特殊状態（肥満・妊婦・小児・高齢者）など、いくつもの因子を総合的に判断し、行われる。第3回目は肝臓に焦点を絞り、前編の今回は肝臓の機能そのものについて、ご説明したいと思う。

肺であれば呼吸、腎臓であれば水・電解質バランス、心臓であれば血液循環のポンプと、一言でその役割を大まかに表現することができるが、肝臓は重要な機能が多数存在し、一言で表現することは難しい。



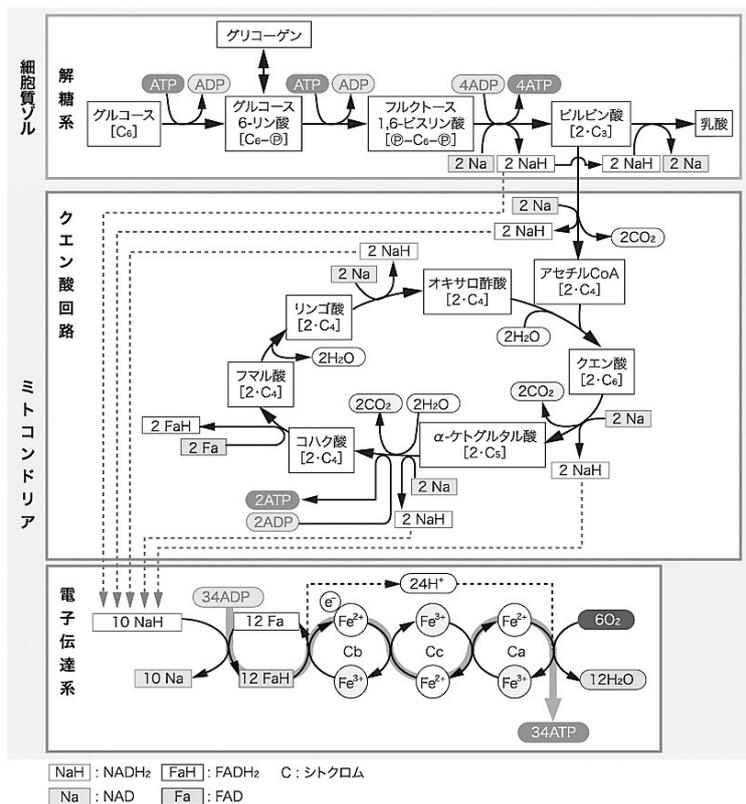
肝臓は、腹部の右上に位置して、ほぼ肋骨の下に収まっており、頭側（上方）には横隔膜が存在する、体内で最大の臓器である。部位による機能の分化が少なく、一部に損傷があっても再生能力が強いため、症状として現れにくい。自覚症状が

出る頃には非常に悪化していることもあり、「沈黙の臓器」などと呼ばれる所以である。その機能は非常に多岐にわたり、細かいものを入れれば少なくとも500以上あるとされ、人工臓器としての実用化が非常に難しい臓器でもある。そのうち主な9項目を以下に列挙する。

①**胆汁酸の生産**：コレステロールを原料として生成された胆汁酸は、胆管・胆嚢から十二指腸に分泌され、食物脂肪の消化に寄与する。分泌される胆汁酸の90%は回腸で能動輸送により再吸収・再利用され、腸管から肝臓や胆嚢に再び抱合胆汁酸が移動する（腸肝循環）。ちなみに腸内細菌が回腸以降の大腸を主な活動場所としているのは、乳化作用により細菌の細胞膜を破壊し殺菌作用のある胆汁酸が回腸でほとんど吸収されるためである。

②**グルクロン酸抱合**：ヘモグロビンの構成成分であるヘムは、脾臓で非抱合型ビリルビン（間接ビリルビン）へと分解されアルブミンと結合して肝臓に運ばれ、グルクロン酸抱合を受けて抱合型ビリルビン（直接ビリルビン）へと変化し、胆汁色素として分泌される。

③**脂質の代謝**：飢餓時などグルコース枯渇時の代替エネルギー源として、脂肪を脂肪酸へと分解



し、β酸化という代謝経路を経てアセチルCoAを産生し、ミトコンドリア内のクエン酸回路・電子伝達系へと進み、エネルギー（アデノシン三リン酸：ATP）を産生する。例えば、脂肪酸の1種であるパルミチン酸1分子が、クエン酸回路、電子伝達系と酸化リン酸化を経て完全酸化されることにより、実にATP130分子が合成される。グルコース1分子の完全酸化によるATP産生量は38分子であり、脂肪酸は非常に優れたエネルギーの貯蔵庫であることがわかる。ちなみに、安静時や強度の低い運動時には脂肪の方が糖よりも多く使われている。血糖やグリコーゲンは利用しやすいエネルギー源ではあるが、貯蔵量は少ないので安静時などでは多くは使われず、強度の高い運動時などに糖が優先的に使われるようになる。

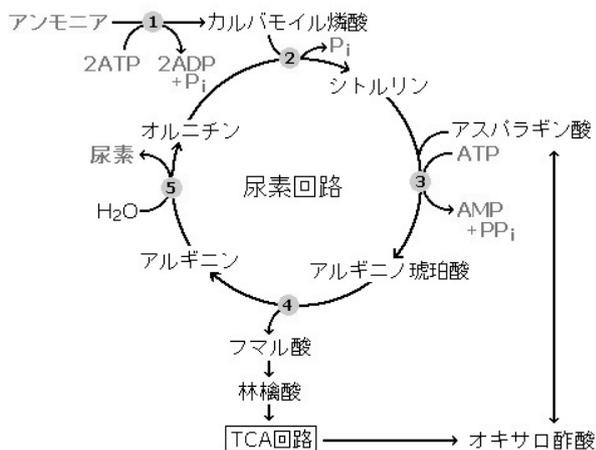
肝機能とは直接関係なく余談となるが、脂肪に関わる知識として、人間はどのくらい絶食に耐えられるか考えてみよう。成人では基礎代謝量は1

日およそ1600キロカロリーであるが、栄養摂取量が減少すると1200キロカロリーに落ち、延命を図ろうとする生理的反応が起こる。栄養が欠乏するとまず筋肉が分解されたたんぱく質として利用され、次に脂肪がエネルギーとして利用される。これにより、水分の補給があれば絶食状態で1～2ヶ月程度生存でき、この限界を越えれば餓死に至る。脂肪の貯蔵量の多い肥満者はそれだけ長期間生存できることになり、脂肪量によっては3～4ヶ月以上生存できる計算になる。水だけで3ヶ月以上生存するというのは信じ難いかも知れないが、同じ哺乳類である熊などは脂肪を蓄えた状態で冬眠して数ヶ月過ごす事を考えると、決して無理な数字ではないのかもしれない。仮に、体重70kg、体脂肪率20%とし、脂肪のカロリーを9kcal/g、低下した基礎代謝を1200kcal/日とすると、70kg×0.2（体脂肪率）×9kcal/g / 1200kcal/日=105日、となり3ヶ月半ほど生存することができる。ただしあくまで生存が可能であるというだけで、健康な状態を維持することは不可能であ

る。このエネルギー代謝の知識はまさに栄養学の知識であり、麻酔学を追及していくとその世界はどんどん広がり、その興味は尽きることがない。

④**蛋白質の代謝（アルブミンの合成）**：食物に含まれる蛋白質は、小腸でアミノ酸に分解・吸収され肝臓に送られ、そこで体を構成する蛋白質に再合成される。例として、血漿膠質浸透圧の保持や物質の保持・運搬に参与する血清アルブミンや、各種血液凝固因子が挙げられる。

⑤**アンモニアの尿素への変換**：食物に含まれる蛋白質や、腸の分泌液に含まれる尿素が腸内細菌によって分解されると毒性の強いアンモニアが生産され、血液中に放出される。血中アンモニアは肝臓に運ばれ、肝細胞中のミトコンドリアと細胞質の尿素回路（オルニチン回路）において尿素に変換され、無毒化される。肝硬変などで肝機能が低下したときには体内にアンモニアが蓄積され、肝性脳症を発症する。



⑥**アルコールの代謝**：体内のアルコールの90%は、肝細胞内のミトコンドリアに局在するアルコール脱水素酵素（アルコールデヒドロゲナーゼ：alcohol dehydrogenase：ADH）により代謝され、アセトアルデヒド（Acetaldehyde：AcH）に分解（酸化）される。AcHは肝毒性が

強いので、肝細胞内（細胞質ゾル）で、産生と同時に90%以上が速やかに、アルデヒド脱水素酵素（ALDH：aldehyde dehydrogenase）により分解されて、酢酸になる。飲酒後に生成された酢酸は、肝臓では酸化されにくく、血中に放出され、アセチル-CoA を経てTCA回路に入り末梢組織のエネルギー源となり、最終的には、二酸化炭素と水に変換される。一方でアセチル-CoAからは脂肪酸も合成されるので、アルコールを多飲すると、高脂血症を来す。また、多量の飲酒はAcHが完全に代謝されず、二日酔いの原因となる。

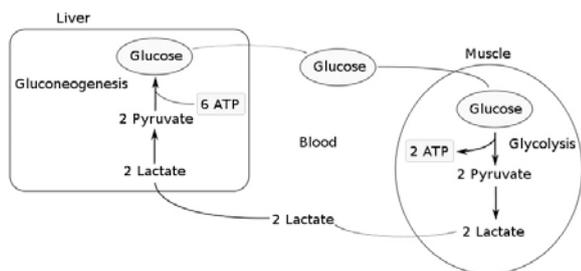
⑦**糖の代謝**：グリコーゲンを合成し蓄え、あるいはこれを分解して血液中にグルコースとして供給する。この量を調整することで血糖値の調節に参与している。糖分の貯蔵手段としてはほかに、脂肪とアミノ酸という形によるものがあるが、脂肪酸という形でしかエネルギーを取り出せない脂肪や、合成分解に窒素代謝の必要なアミノ酸と違い、グリコーゲンは直接ブドウ糖に分解できるという利点があるため、肝臓に蓄えられたグリコーゲンのみが他の臓器でも糖として利用することができる。ただし、脂肪ほど多くのエネルギーを貯蔵することはできず、食後などの一時的な血糖過剰に対応している。

ここで、乳酸からのグルコースの再合成（コリ回路）についてご紹介する。

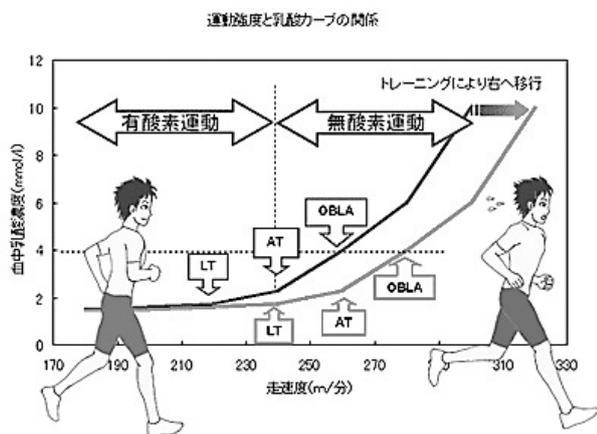
### コリ回路

筋肉が激しい運動の際、短い時間に大量のエネルギーを必要とすると、筋肉細胞は嫌氣的なグルコース分解を行って大量のATPを作り出す。この際に副産物として生成された乳酸が血液の流れに乗って肝臓に運ばれて、乳酸脱水素酵素（LDH）によってピルビン酸に変換され、その後糖新生によってグルコースが再生される（コリ回路）。グルコースは血中に放出されて赤血球や筋肉で再び

エネルギーとして消費される。ATPの収支を考えると、1回の嫌気性代謝で2分子のATPが生成され、糖新生で6分子のATPが消費されるため、正味4分子のATPが減少している。つまりコリ回路はエネルギー消費系である事がわかる。コリ回路の重要性は、嫌気的な条件下で筋肉の乳酸アシドーシスを防ぐところにある。



乳酸といえば、激しい運動時に産生されパフォーマンス低下に関係する疲労物質として知られている。産生された乳酸はATPを消費しながらブドウ糖に再変換されること、乳酸代謝に伴うCO<sub>2</sub>の増加と電子伝達系におけるO<sub>2</sub>必要量の増大により呼吸仕事量も増加することから考えても一理あることであろう。トレーニングによって運動機能が向上するのは、有酸素運動から無酸素運動に切り替わる変換点：AT（Ananerobic Threshold、無酸素性作業閾値）をより向上させることと、乳酸の代謝能力が向上することにあると、先日受講したスポーツデンティストの講習会で学び、大変興味深かった。



⑧コレステロールの生合成：コレステロールと聞くと、動脈硬化を促進し循環器疾患の大きな原因となる、体にはあまりよくない物質という負のイメージが大きいかもしれないが、実はコレステロールは、生体の恒常性の維持に非常に重要な役割を果たしている。例えば副腎皮質ホルモンや性ホルモンといったいわゆるステロイドの合成や、生体膜（細胞膜）の脂質二重層構造の重要な構成物質となっており、人間では主に肝臓および皮膚で生合成されている。肝臓で合成されたコレステロールは脂肪酸エステル体に変換され血液中のリポタンパク質により全身に輸送される。ではなぜ、悪玉コレステロール（LDLコレステロール：low density lipoprotein cholesterol）や、善玉コレステロール（HDLコレステロール：high density lipoprotein cholesterol）などと呼ばれるのか。この両者の違いはコレステロールを体内輸送する際における、コレステロールと複合体を作るリポタンパク質の種類によるものであり、コレステロール分子自体の違いではない。肝臓から末梢へのコレステロール輸送はLDLが担当し、それが過剰であるとアテローム性動脈硬化を引き起こし冠動脈疾患や循環器疾患の主要な原因となる。一方で、組織から肝臓への輸送はHDLが担当し、アテロームからコレステロールを除去する唯一の因子であることが知られており、こういった役割の違いから悪玉・善玉と呼ばれている。ちなみにコレステロールの値が高いほど心筋梗塞のリスクが高まり、低いほど脳卒中のリスクが高まり、血中総コレステロールが180～200mg/dLが最も死亡率が低く、長寿であることが指摘されている。総コレステロール値よりもその質（LDLとHDLの割合）が寿命に関係してくると考えられている。

⑨体温の維持・調節：体温は体内で作られ、血液

によって運ばれて体全体を温める。体の中心部では38℃、脇の下では36～37℃であるが、それが手や足先に運ばれるころには28℃くらいになる。体温維持のための熱産生が多いのは、安静覚醒時では内臓（52%）、骨格筋（25%）、脳（18%）であり、筋活動時では骨格筋（75%）が主になる。

再び余談であるが、体温に関連して、全身麻酔中に保温・加温がどうして重要か述べたいと思う。通常我々は、寒ければ体表の血管を収縮させ外気との接触面積を減らし熱の放散を防ぎ、筋肉を収縮させ震えることにより熱を産生する。逆に暑ければ血管を拡張させ熱の放散を促進し、汗をかき気化熱によって体温を低下させ、一定の体温を維持している。一方、全身麻酔中は体温の調節機能も低下し、前述のような生理的機構が十分に機能しない。全身麻酔中の患者は薄着である上に、オペ着を着用しライトの熱にさらされた術者は室温を下げるよう要求する。さらに侵襲の大きな手術の場合、より体は熱を産生しようとし体温のセットポイントは高くなる。このため、全身麻

酔から覚醒した途端に体温調節機構が働き出し、熱の産生が急激に促進される。つまり、全身の筋肉を収縮させ体はガタガタと震え、交感神経が優位になり血圧は上昇し心拍数が増す。健常者であればこのような状況下に陥っても問題なく経過するであろうが、これが高齢者や心疾患患者に起きたらどうだろう。急激に高まった心臓の酸素需要に追いつかず心筋は虚血を起こし、最悪の場合、Vfなどの心停止を起こすことも十分に考えられる。麻酔医は、患者が急変した際に迅速かつ冷静に対処する技術・知識がもちろん必要であるが、それを未然に防ぐために細心の注意を払い行動することが最も重要である。野球に例えるならば、一見難しい打球を華麗なダイビングキャッチで捕球するのも確かにファインプレーではあるが、打者の癖・投手の球種とコースから事前に打球を予測し守備位置をとり、難なくプレーすることこそが、本当のファインプレーなのである。

後編の次回では、この肝機能の評価法についてご説明したいと思う。

## 会員へのお知らせ

# 日本歯科医師会福祉共済制度について

### 1. 死亡共済金受取人順位の変更について

受給権者をあらかじめ指定した方で、結婚、離婚、再婚、死別などにより受給権者の状況に変更があった場合（指定の確認は茨城県歯科医師会までお問い合わせ下さい）。

### 2. 火災・災害共済指定物件の変更について

住宅及び診療所所在地の変更があった場合（変更届出前に火災、災害に遭われた場合、所定の共済金が支払われないことがありますので、変更時に必ずお届け下さい）。

※ これらの変更については、所定の様式がございますから、茨歯会事務局（TEL 029-252-2561：担当 根本）までご請求願います。



## 【第3回体験入学】

高校生や社会人を対象に、9月27日（土）に第3回体験入学が開催されました。

高校生を中心に歯科衛生士科では30名、歯科技工士科では8名の参加となりました。

歯科技工士科では、石膏の練和や注入、歯の形のカービングなどを体験してもらいました。

また、スライドを用いてクラウン・全部床義歯製作の過程を説明しました。



歯科衛生士科では、マネキンのスクレーリング、印象材の練和や型採り、細菌観察、染め出しブラッシングを体験してもらいました。

初めて体験入学に参加する方もいれば、2回目・3度目の参加の方も多くいらっしゃいました。参加者は皆、緊張しながらも真剣に作業に取り組んでいる様子が印象的でした。また、両科の在校生にお手伝いをお願いしておりますが、普段とは逆の教えるという立場になり、参加者の方々へ熱心に対応してくれました。

両科の参加者にとっては、それぞれに進路選択の大切な時期であると思います。



今回の体験入学が、参加者にとって今後の目指す道に繋り、より多くの参加者が志願してくれることを期待しております。

（文責 佐藤）

## 【歯科衛生士科スポーツ大会】

9月19日（金）内原ヘルスパークにて、スポーツ大会が開催されました。2年生が中心となり様々な準備が進められました。

今回のスポーツ大会の種目は、バレーボールとドッジボールの2種目で、どの学年もチーム全員で声をかけ合いながら楽しそうにプレーしていました。

バレーボールでは、経験者が迫力あるアタック・サーブを決め、まわりをフォローしながら試合が進められていました。

選手以外の応援にも熱が入り、自分のチームが試合でないときには同じ学年の他のチームを応援している姿がみられ、普段なかなか見ることのできないクラスの絆を垣間見ることができました。またスポーツ大会の最後には、1、2年生から3

年生に国家試験に向けてのエールを送り、それを受けて3年生は、1、2年生に自分たちが実習で経験したことなどを踏まえてアドバイスや激励の言葉を送っていました。

今回のスポーツ大会で、普段の学校生活では見ることのできない学生の新たな一面を見ることができました。そして、学生・学年相互の親睦が一層深められたのではないかと思います。



## 【東京歯科大学見学実習(2学年)】

9月25日(木)東京歯科大学にて、解剖学教室・病院見学・標本室見学をさせていただきました。

解剖学教室では、授業で学んだ口腔内の構造や人体について実際に見学できたことによりそれぞれ再確認することができた様子でした。病院見学では、総合歯科や専門分野毎の診療、充実した設備や患者さんへの配慮について分かりやすく説明して頂きました。標本室では、日本でも数少ない貴重な標本を見学させて頂きました。今回の貴重な経験や学んだことを、これから、はじまる臨床・臨地実習に生かして取り組んでほしいと願います。



田中教頭先生はじめ小澤教務副部長先生には、お忙しい中、朝から引率していただき学生を激励してくださりありがとうございました。

## 【いばらき専門カレッジリーグ 水戸まちなかフェスティバル参加】

9月28日(日)10時から16時、水戸市中心街地において、水戸まちなかフェスティバルが開催されました。秋晴れの清々しい天気にも恵まれ、来場者も多く大変盛大なイベントでした。本校も専門カレッジリーグのブースとして参加し、教職員4名、歯科技工士科2年生4名、歯科衛生士科3年生10名の計18名で担当しました。

歯科技工士科のコーナーでは、歯ブラシのデコレーション、オリジナルキーホルダー作りを体験してもらいました。



歯科衛生士科のコーナーでは、顕微鏡による細菌検査や咬合力をみるガムの検査を体験してもらいました。



約670名の参加された方々は親子連れが多く、このイベントを楽しみにされている常連の方もおり、学生たちも県民の皆さんとコミュニケーションを取りながら歯科に興味を持ってもらえるように、説明している様子がみられました。

(文責 寺門)

## 【保護者懇談会】

(歯科衛生士科、歯科技工士科)

10月2日(木)茨城県歯科医師会館会議室において、歯科衛生士科3年生(50名在学)、技工士科2年生(15名在学)の、共に最終学年の保護者の方々にご出席いただき両科合同の懇談会が開催されました。

懇談会に先立ち、各科では、授業参観と個別面談を実施しました。授業参観は、衛生士科4名、技工士科2名、個別面談では、衛生士科4名、技工士科3名、の希望がありました。個別面談では担任にご息女、ご子息の学校での様子や就職活動のこと、国家試験について熱心に質問されておりました。

懇談会には、衛生士科14名、技工士科3名の保護者の方々が出席されました。

田中教頭の司会進行により、学校長の挨拶の後、本校の関係者の紹介がありました。

続いて各科それぞれの教務主任より、最終学年の卒業までの今後の予定や留意事項について次のようなご説明をさせていただきました。

国家試験に関しましては、衛生士科は平成27年3月1日(日)日本大学で、技工士科では来年2月中旬に本校において実施される予定となっております。国家試験受験に向けて、学力向上のため両科共その対策授業に力を入れて取り組む一方で、模擬試験を実施し意識も高めていきたいと思っております。そのうち1回は卒業試験となります。

これからは、国家試験受験に向けてなお一層健

康管理に気を付けながら、各自が自覚を持って学習に臨んで頂きたいと願っております。

就職に関しましては、両科共に県内の求人票を掲示し、これから職場見学を経て、面接などの採用試験に臨む形となります。個人面談をしながら進めていきたいと思いますが、保護者の皆様にもご支援を賜りたいと思います。

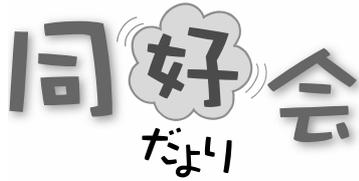
また、保護者の方々お一人ずつの質疑応答の時間では、皆様が真剣に質問されていました。



最後に学校長から国家試験に向けて、目標を立て良い緊張感を持ってしっかりと勉強してほしい。保護者の皆様には、健康管理と、落ち着いた生活ができるよう支えていただきたい。とのお願いを兼ねた挨拶で、閉会となりました。

今回、ご出席された方々の思いやご意見を直接お伺いすることができました。それに対し、本校として学生のためできる限りのことをさせていただくという強い思いをお伝えすることができましたことは、大変有意義な懇談会であったと思えます。

(文責 大槻)



## 茨城県歯科医師会親善ソフトボール大会報告

(社)珂北歯科医師会 鈴木 宏信

去る10月2日(木)、恒例の茨城県歯科医師会地区対抗親善ソフトボール大会が、珂北歯科医師会の主管により水戸総合運動公園にて開催されました。

当日は、みなさまの日頃の行いが良いおかげで、暑過ぎず寒過ぎずの絶好のソフトボール大会日となりました。珂北歯科医師会のメンバーならびにお手伝いの先生は朝7時に現地集合し、審判団の方々と共に会場設営準備に取り掛かりました。

準備が進む中、各チームの選手、先生方がぞくぞくと到着し、あっという間に開会式の時間となりました。

伊藤勝夫珂北歯科医師会副会長により開会の辞、続いて茨歯会会長森永和男先生にお言葉をいただき、主管である珂北歯科医師会会長小林克男先生のあいさつ。この後、恒例となりつつある昨年優



勝の県西マスターズ菊地義宏先生による選手宣誓。

今年は特に流行語がなかった様ですが、とても爽やか(?)で清々しくてとてもよかったです。

いよいよ各チーム代表者による組み合わせ抽選



会となり、抽選の結果、1回戦より好カードが目白押し。

今年も森永歯科医師会長による始球式。見事な投球をされ、ついに試合開始となりました。

県西バスターズ4連覇達成なるか、それとも他のチームがくい止めるか。

3面のグラウンドに分かれて次々と熱戦がくり広げられ、終わってみると昨年準優勝の土浦・石岡が雪辱をはたし優勝。2位鹿行、3位県西。ちなみに我が珂北は、昨年同様4位となりました。

優勝した土浦・石岡チームは、チーム全体のまとまりがあり、恐らく昨年以上にこの日に向けて練習をきっちりしてこられたと思います。来年も連覇に向けてがんばって下さい。

又、県西バスターズも来年は巻き返してくれるでしょう。今から来年が楽しみです。

今年、珂北歯科医師会では、4月より菊地勝則先生、青砥聖二先生を中心に準備、練習を進めてまいりました。準備に際しては、前回の東西茨城歯科医師会はじめ多くの先生方に助けていただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。又、珂北歯科医師会も試合に出場し、かつ主管運営もするという事となり、これまでに参加していない先生にもお手伝いいただくことになり大変助かりました。又、昨年同様残念ながら怪我をなされた先生がいらっしゃいましたが、皆様のご協力、ご理解のお陰で何とか大会を進め、無事終わることができました。本当に感謝申し上げます。



来年は、鹿行歯科医師会の主管のもと、また同じ場所で行われるということです。1年後再び1人でも多くの先生方とお会いできますことを祈念して報告とさせていただきます。

# 茨歯アンテナ

2014年11月6日（木）茨城新聞

## 災害時、口腔ケア

つくばみらい市

### 市歯科医師会と協定



災害時の歯科医療救護協定を締結した片庭正雄市長と横張雅彦会長（右から）＝つくばみらい市福田

つくばみらい市と同市歯科医師会はこのほど、「災害時の歯科医療救護についての協定」を締結した。市内

科医師会が昨年3月、新たに結んだ協定を踏まえたもので、県南地域の自治体では同市が初めて。

協定によると、避難所などで、口内傷病者の応急処置や高齢者らの口腔ケア、法医学に基づき遺体の身元確認作業などを行う。市内15歯科医療機関が支援する。

調印式は同市福田の市役所で行われ、県歯科医師会の森永和男会長をはじめ、関係者が同席する中、片庭正雄市長と市歯科医師会の横張雅彦会長が協定書にサインした。

片庭市長は「口腔疾患の治療や予防だけでなく、肺炎などの関連疾患の予防にもつながる。協定は心強い」とあいさつ。横張会長は「万が一、災害が発生した際、少しでも市民の役に立ちたい」と話した。

（松田拓朗）

2014年11月12日（水）茨城新聞

### 「健口者」2人に認定証

#### 水戸市役所で授与式



「生涯健口達成者」に認定された飯泉仁さん（左から2人目）と小森壽子さん（同3人目）＝水戸市役所

水戸市は、本年度より「歯をターゲットとした「歯科保健計画」に基づき、80歳以上を維持している人を「生涯健口達成者」として県内で初めて認定し、11日、第1号となる2人に認定証を授与した。

同市は生涯健口で過ごすことを目標とした歯科保健計画を策定。その一環として、年度内に40、50、60、70、80歳になる市民を対象に歯周病検診を行う。6月から9月の検診で80歳4人が20本以上を達成した。

市役所臨時庁舎で行われた認定証授与式には、4人のうち、同市南町の小森壽子さん

（鈴木愛美）

（80）、同市千波町の飯泉仁さん（79）の2人が出席。高橋靖市長から認定証が手渡された。30本の歯がある小森さんは「認定を受けてこれからも一生懸命歯磨きをしようと思っただけで、28本の飯泉さんは「歯に限らず、体も健康でいたい。決まった時間に食事をし、食べ過ぎないことを心がけたい」と話した。

2014年11月14日（金）茨城新聞



連携協定を結んだ永井秀雄院長（右から2人目）と仁平哲夫会長（同3人目）＝県立中央病院

同病院に口腔外科はなく、現在は非常勤の歯科医師と専門の看護師、歯科衛生士で患者の口腔ケアを行っている。今後は、同歯科医師会所属の歯科医約20人が、当番制で同病院の入院患者を往診していく計画で、患者の口腔管理の充実が期待される。

同歯科医師会は笠間、大洗、城里、茨城、小美玉の5市町と桜川市の旧岩瀬町域の歯科医師で構成。同病院で開かれた協定締結式で、仁平会長は「医療連携がスタートし、今後はいかに継続していくかが大切。精いっぱい努力していきたい」とあいさつ。永井院長は「地域医療と患者さんのために喜ばしいこと。連携をさらに深めていきたい」と話した。（戸島大樹）

## 県立中央病院

# 口腔ケア 歯科医と連携

## がん治療副作用に対応

笠間市鯉淵の県立中央病院（永井秀雄院長）と東西茨城歯科医師会（仁平哲夫会長）は13日、歯科医師連携に関する基本協定を結んだ。がん治療などに伴う副作用や合併症に対応するため、同歯科医師会の医師が同病院で歯科診療を行い、患者の口腔ケアに当たる。がん治療では、化学療法が得意として、栄養治療の継続が難しくなったり、放射線治療による副作用で口腔状態が悪化や誤嚥性肺炎の危険もあるため、歯科との連携の必要性が求められている。

（戸島大樹）

茨城新聞11月18日（火）掲載

# 歯科コラム Dental column

Vol. 19

 公益社団法人茨城県歯科医師会  
広報委員会 成井敏幸

## 歯周病とおなかの赤ちゃんの関係

「妊娠中は歯周病になりやすい」とか「出産後は歯が悪くなる」などと言われ、かつては「一子を得ると一歯を失う」とも言われました。実際、様々な原因で妊娠中のむし歯や歯周病のリスクは高くなります。妊婦さん自身はもちろん、おなかの赤ちゃんのためにも、十分な口腔ケアが必要です。

### ■妊娠性歯周炎をご存知ですか？

妊娠中は、「つわり」による食嗜好の変化や歯磨きの困難さ、胎児の発育による食事回数の増加などにより、口腔ケアがおろそかになりがちです。また、女性ホルモンが急激に増加すると、プレボテラ・インターメディアという歯周病原性細菌が増殖しやすくなります。また血管の透過性も高まり唾液の粘性も高まるため、お口の中の自浄性が低下し、歯肉の炎症や出血がおこりやすくなります。これを妊娠性歯周炎と呼びます。

### ■歯周病とおなかの赤ちゃん

2005年に切迫早産で低体重児を生んだ妊婦は、正常妊娠・正期産の人に比べて、歯周病菌が約4.5倍も多かったと報告されています（北海道医療大学歯学部古市保志教授の疫学調査）。また、歯周病の妊婦は、そうでない妊婦に比べ、早産や流産に生じる確率が7.5倍高くなるという研究報告もあります（UCCLA大学歯学部マイケル・ニユーマン教授）。

妊婦さんが歯周病にかかっている場合、歯周病患部から毒素や炎症を引き起こす物質が血液の中に入って全身に運ばれ胎盤に刺激をあたえると、胎児の成長に影響を与えたり子宮の収縮を促して、早産につながるとされています。

妊娠がわかったら、おなかの赤ちゃんのためにも、お口の中のケアはくれぐれもご注意ください。

### ■妊婦歯科検診

妊娠中はむし歯や歯周病になりやすくなっていますが、これらの初期症状に自分からは気づきにくいものです。つわりが治まる4～5カ月頃に歯科検診を受けて、比較的体調の安定した妊娠中期に、必要な歯科治療を済ませたいものです。もちろん、できるだけ妊娠の前に、むし歯、歯周病の治療を済ませておくことも重要です。

歯科治療に当たっては、母子健康手帳を提示して産婦人科医から注意を受けていることは、必ず歯科医師に伝えましょう。出来るだけ楽な姿勢で治療を受け、体調や気分が悪くなったりした時は、遠慮なく申し出ましょう。

茨城県 ご当地よ坊さん  
ご当地愛称 みがこーモン



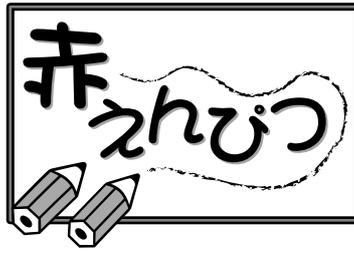
日本歯科医師会・PRキャラクター

●次回掲載予定 2月18日(水) 第23回茨城県歯科医学会開催 平成27年2月22日(日) 水戸プラザホテル


 公益社団法人 茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

<http://www.ibasikai.or.jp/>  
茨城県歯科医師会 検索

 ご意見、ご質問をメールにてお寄せください。  
opinion@ibasikai.or.jp



この秋は行事が重なり、昨日まで13連勤。

那須の森の中にあるカフェでこの文章を書いています。

今朝は少しゆっくり起きて、紅葉を楽しみながら那珂川沿いにドライブ。

福島県白河でラーメンのランチ(?)。腹ごしらえをして、友人に勧められた山奥の温泉へ。標高があがると紅葉の色は褪せ、道端には雪。江戸時代に白河藩主松平定信公の別荘があった甲子温泉D屋。岩風呂は、今でもランプが灯る混浴の温泉です。広くて深い湯船はぬるめで澄んだ単純泉。溪流のせせらぎと木を揺らす風の音に耳を傾けリフレッシュ。

このまま帰るには早いので、ひと山越えて那須湯本へ。山道から見える那須・茶臼岳は雪化粧を始めていました。那須湯本の鹿の湯は41度から48度までの湯舟が楽しめる真っ白な硫黄泉。こちらは平日にも拘らず、結構混雑していましたが、掛け流し温泉のハシゴで地球からパワーをもらって、今年のラストスパートへ Go for it !!

(樹)



我が家にペットのトイプードル『杏仁』がきて早や1年4ヶ月。スタンダードプードルか??せずになんとかトイプーを維持していますが、先日検診に行くと、「少し太り気味ですね…」と言われてしまいました(飼い主に似てきてしまった??)。

ご飯はそんなに食べないから、どうやらオヤツの与えすぎらしい。いつもカミさんに「娘に甘すぎ!」と言われてたとおりでた。最近はおやつは控え目になっているが、1日1回のリンゴが大好きで美味しそうに「シャカシャカシャカッ」と音を立てて食べる様がなんとも可愛くて、またしても与え過ぎないように自分に言い聞かせている(>\_<)。最近是我的声を聞くとサークルから顔を出して甘えたような声で鳴かれるものだから、もうWパンチ。さらには成長しているのか、以前はサークルから出すと、もう家中を走り回ってバタバ



タと大騒ぎしたもののだが、今は誰かがソファに座ると端っこに挟まれるように寝始める。成長したものだ。まあ、たまに食べ物を盗んでは逃げ回ることもあるが、それはそれで可

愛いから許そう・・・だから私はカミさんに怒られる（笑）。これから子供達が離れていくとますます可愛く思えて自分がどれだけ甘やかすのか怖い…。その分またカミさんにドヤされるのかと思う…のはやめよう(´\_`)

(コバ)

先日、大学の卒業25周年クラス会が行われ、参加した。同窓会は疎遠になっており、卒後初めて会う人もけっこういたが、懐かしく、楽しいひと時を過ごすことができた。顔を合わせると、決まって「おー、久しぶり。元気そうだな。ちょっと丸くなったか。」とのこと。みんな優しい。ちょっとじゃない。かなり丸くなった。卒業アルバムを見ると、別人のようにスマートな自分が写っていた。使用后→使用前のようだ。

そしてこの前、県民歯科保健大会、歯と口の健康フェスティバルが茨菌会館で行われた。広報委員は今年も健康チェックを担当。かなり盛況で、大勢の人たちが列を作り並んでいた。終了時間が近づきすいてきたころ、自分でも健康チェック。体の衰えが当然のように見受けられる。とくに血管年齢が+7歳と測定された。まずい。高精度体成分分析 (in-body) には恐ろしくて乗れなかった。健康について真面目に考えなくてはと、今さらながら思う出来事が続いた。

そろそろ節制しなくては。でもこれから年末年始だ。年が明けてからにしようかな。そのころには節制するということを忘れているかも。などと考えている自分が情けない。年中行事になりつつあるこの考え。そろそろ実行に移したいものだ。

(仁)



広告

# 医・歯学部現役合格は「全寮制」の秀明から 知力が先伸びする秀明教育



## 特色

- 優れた人間形成のための全寮制**
  - 月曜登校金曜帰宅の4泊5日制
  - 最新の施設完備（男女別棟）
  - 24時間安全安心の警備体制
- 学力をつける独自の学習システム**
  - ムリなく理解できる到達度別学習
  - ムラをなくす秀明検定テスト
  - 毎日3時間の実りある夜間学習
- 最高の条件で英語を習得できます**
  - 資格と経験のあるイギリス人スタッフ（専任9名）
  - イギリス英語研修（中学で2週間、高校で4週間）
  - 全生徒が英検にチャレンジ

## 創立以来の合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	192
北海道大学	2	自治医科大学	2	東北大学	1	昭和大学	61
東北大学	5	産業医科大学	2	九州大学	2	愛知学院大学	15
名古屋大学	2	日本医科大学	37	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	18
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	新潟大学	3	北海道医療大学	42
九州大学	1	順天堂大学	53	岡山大学	1	岩手医科大学	34
東京医科歯科大学	1	昭和大学	61	広島大学	2	奥羽大学	102
千葉大学	6	日本大学	72	徳島大学	1	明海大学	151
筑波大学	2	東京医科大学	53	長崎大学	2	神奈川歯科大学	78
群馬大学	5	東邦大学	82	鹿児島大学	2	鶴見大学	86
新潟大学	6	東京女子医科大学	13	九州歯科大学	4	松本歯科大学	81
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	132	東京歯科大学	73	朝日大学	34
上記以外、国公立 18 大学 67 名、私立 17 大学 780 名				日本大学・歯、松戸歯	140	福岡歯科大学	2

※数字は1982年～2014年度の延べ人数※順不同

## 入学試験日程

### [中学校]

入試区分	出願期間	試験日	合格通知書発送日
一般入試 第Ⅰ期	12月22日(月)～ 1月8日(木)	1月10日(土)	1月13日(火)
一般入試 第Ⅱ期	1月19日(月)～ 1月30日(金)	2月1日(日)	2月3日(火)

### [高等学校]

入試区分	出願期間	試験日	合格通知書発送日
単願入試	1月6日(火)～ 1月19日(月)	1月22日(木)	1月27日(火)
併願入試	1月6日(火)～ 1月19日(月)	1月22日(木)または 1月23日(金)を選択	1月27日(火)
一般入試	1月19日(月)～ 1月30日(金)	2月3日(火)	2月5日(木)

学校法人 秀明学園

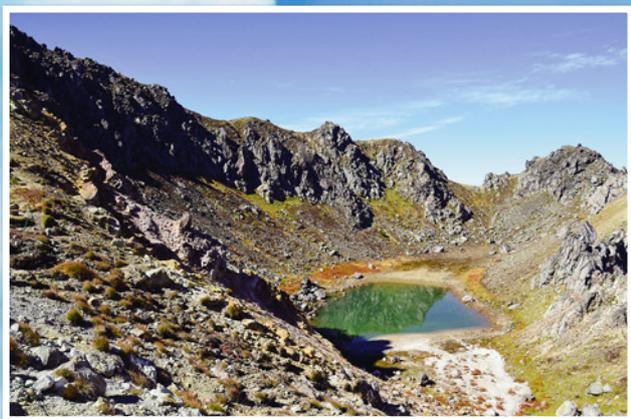
進学相談・学校見学随時受付中

# 秀明中学・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp> 秀明学園 検索

# みんなの写真館

Photo Gallery



火口湖 正賀池



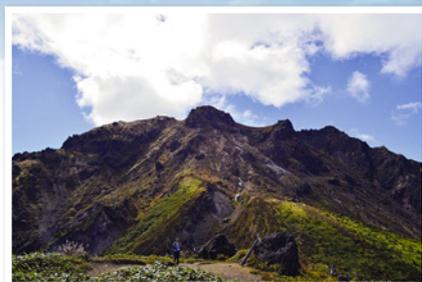
噴気口



笠が岳方面



槍ヶ岳方面



焼岳小屋付近からの頂上



上高地 梓川

## 紅葉の北アルプス焼岳

(社)水戸市歯科医師会 飯島 重樹

### 会員数

平成26年10月31日現在

支 部	会員数 (前月比)
日 立	121 +1
珂 北	140 -1
水 戸	159 +2
東西茨城	73
鹿 行	104
土浦石岡	173
つくば	117
県 南	179
県 西	155
西 南	106
準 会 員	1 +1
計	1,328 +3

## みんなの写真館写真募集 !!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,142名
2種会員	49名
終身会員	136名
準会員	1名
合計	1,328名



**Ibaraki Dental Association**  
公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 平成 26 年 11 月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘  
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。